

平成30年1月30日

横須賀市長殿

要請書

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

共同代表	呉東	正彦
同	新倉	裕史
同	小林	麻利子
同	今野	宏
同	三影	憲一

今年3月の横須賀市地域防災計画の改訂に伴う、市民への広報資料について、私たち市民の意見も取り入れて頂き、ありがとうございます。

ドラフトを拝見させて頂き、さらに以下の補足意見、その他参加者からの意見を提案させて頂きたいと存じますので、平時から原子力事故の恐ろしさを認識でき、いざという時に誰でも市民に役立つ広報資料のため、さらなる改訂や取組をお願いいたします。

- 1、1頁 原子力災害について 簡潔にまとまっているとは思いますが、さらに見やすくするために、イラスト等を入れたら、どうでしょうか。
- 2、3頁等にホームページのアドレスとともに、QRコードも入れたらどうでしょうか。
- 3、放射能の人体他への危険性について、さらに追加し、4頁の表にも、高放射線被曝の健康被害を加えた方がよいのではないのでしょうか。
- 4、13頁 飲食物摂取制限も指示されることを加えた方がよいのではないのでしょうか。
- 5、14頁 GNFのどこから、半径500mなののでしょうか。
15頁 各施設の入った地図の方がよいと思います。
- 6、この広報資料について、是非予算をとって、全戸配付（特に順次重点対策地域内に）。

して下さい。

さらに今後の課題として、

7、避難が必要とされた場合に、どう市民に指示するのか、避難計画を具体化したり、避難訓練を行って下さい。

8、ヨウ素剤について、避難の場合にはかなり放射線量が高いので、やはり事前配付して屋内退避中に飲んでから、避難をした方がいいのではないかと考えます。